

## 目次 (1-16) 節

16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
本当はあの子と行きたい気持ち	長い黒髪が風でゆれていた	おなかが鳴る	演技だったらかわいそう	今日は幹夫はお殿様	ほな後で言います	未来はどうなるか誰も知らない	これも挨拶なんだろうなあ	身につくもんでなくていかん	ああやめて正月から	妹がいたらなあ	妹がいたらなあ	恋するは学校へ行く日	元旦なぜオメデタイのか	私は日記を書く	プロローグ	
.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	
72	66	64	62	60	58	44	38	32	28	24	20	18	16	12	10	